

令和5年度 第1回岩美町立図書館協議会 議事概要

1 日 時 令和5年6月20日（火）午後1時30分～午後2時45分

2 場 所 岩美町中央公民館 2階 研修室3

3 出席委員

小谷節子（会長）、澤田ひとみ（副会長）、小山富一、片村俊子、田中彰彦、
日下部あゆみ、岩崎武史、山崎章誉

＊欠席委員： 石河和子、稲葉扶美子

（事務局）教育長 大西泰博、次長 橋本大樹、課長補佐兼社会教育係長
田中聡嗣、図書館長 坂口雅人、図書館司書 松本澄恵

4 概要

（1）開会

（2）教育長 あいさつ

（3）報告・協議事項

①令和4年度事業実績について

（会長）ブックスタート、セカンド、サードの支援とはどのようなことをするのか。

⇒ブックスタートは絵本2冊、本袋のプレゼントや絵本の説明を行っている。セカンド、サードについては、絵本の選書を図書館が行っており、1冊をプレゼントしている。

（会長）図書館利用者カードのプレゼントは。

⇒小学1年生を対象に実施していたが、今は実施していない。

（委員）貸し出し冊数が5%も下がっている、因幡但馬麒麟圈の貸し出し冊数も1,000冊下がっている。危機的状況だと思う。下がりだしたら止まらない。魅力がないことを率直に認めてもらわなければならない。いつ来てもがら一んとしている。

（委員）どうしたらよいと思うか。

（委員）ネットの利用を促進する。境港市民図書館に視察に行ったが、そこはコ

ンセプトがしっかりしている。岩美の図書館は何がしたいのかが明確になっていない。

(委員) お話し会にかかわっているが、来られる子どももすごく減っている。

前は、年の大きな子どもも来ていたが、今は小さな子どもだけで、クッキングと合わせなければ人が来てくれない。どうしたら魅力ある図書館になるのか。当初は書架に並んでいる本が少なかったが増えてきた。資料費はどうか。

⇒旧館時に比べ資料費は増えている。

⇒旧館の図書館は非常に狭かった。コンセプトは地域の人に図書館に来ていただいてゆったり読書に親しみ、気に入った本を借りてもらうことだが、新型コロナウイルスの影響で一時期、入館規制を行ったり、閲覧席を減らしたりとブレーキをかけざるを得ない状況だった。そうゆう中で企画展などを開催したりしたが、貸出冊数の数字としては減少している状況だ。お話し会も人数制限を行っている中で実施している。

インターネットの利用については、改善する必要がある。

(委員) 来館者数は増えているが、貸出冊数は減っているのは、一人当たりの貸し出し数が減ってるのではないか。

⇒確かにそうだ。小学校や保育所の読み聞かせができなかったことで、読み聞かせボランティアの方の貸出冊数も影響していると思う。

(委員) 最近やっと再開された。

(会長) 多くの人に借りてもらうにはどうしたら良いか。

(委員) 県立図書館では閲覧席や閲覧用のパソコンなどを感染対策のため減らしている。図書館に行ったけど座れない、閲覧場所がないとかがあった。研修室をフリースペースとして開放し、イベントも実施していくとした。

(教育長) 図書が充実してきたと言っても県立図書館にはかなわない。連携して貸し出すシステムもできていると思うがその状況はどうか。

⇒当館にない本は、県立図書館や他の市町村図書館から借りる体制ができているが、利用者に十分には浸透していないと思っている。

(委員) 私が、岩美町立図書館で借りる冊数が飛躍的に増えたのは、インターネットから県立図書館の本が借りられると教えてもらったからだ。いくらここにたくさん本があったからといって、ここで完結するのは無理だと思うので、他の図書館と連携しているということをもっと大きくわかりやすい形で周知してほしい。境港市民図書館は非常に分かりやすくなっていた。境港市民図書館をまねたほうが良いと思う。

(委員) 私は、岩美町立図書館にある絵本を探したが、ない場合は鳥取まで行って市立図書館で借りてくる。たくさん本がある図書館へ行ってしまう。そのほうが早いから。やはり、蔵書は多いほうが良いと思う。

(委員) 見て選べるのが一番良いが、時間がないとき、ネットで検索すれば、鳥取市立図書館から取り寄せてもらえるので、時間の節約になる。

(委員) 私は手に取って選ぶほうが良い。

(教育長) 相互貸借が、他館からの借り受けした本になるが、これが多少伸びているのでこれを伸ばしていけばと思う。

(委員) 今は自分のスマホを使う時代になっているから、使うようにしたほうが良い。

(会長) それをPRしていかなければならない。

⇒ホームページを見てもらえば当館の蔵書の状況がすぐわかる。そのことをもっとわかりやすく周知するようにしたい。

(会長) 来館者数はどのように数えているのか。

⇒図書館入口2か所のゲートを通ることでカウントしている。

(会長) 図書館に寄った時、中学生が勉強しているのを見かけた。

⇒中学生は多く来てくれる。図書館に親しみを持ってくれるのは良いことだと思う。

(委員) 中学生が好むような蔵書も増やすべきだ。来館しても借りていないということはニーズに合っていないとも言える。

(会長) 中学校の図書館もあるので一概には言えない。

(委員) 学校として読ませたい本と彼らが読みたい本は違うと思う。

(会長) よしたけしんすけさんのポスターがあるが、「図書館だから大丈夫、図書館だったら大丈夫」絵もよくて好きだ。図書館が、図書館に行ったらほっとする場所となればいいと思う。

(委員) 図書館に2つのことを求めている。①学生が勉強場所を求めている。②若者が自宅以外で仕事をする場所を求めている。足を運んでもらうことが大切だ。Wi-Fi が使えることをアピールするほうがよい。県立図書館では青少年保護の観点から考慮して、18歳未満にはパスワードで制限をかけ、Wi-Fi の利用ができないようにし、成人には無制限で使えるようにしている。

⇒当館では wi-fi は誰でも1日に30分3回使える状況で提供している。年齢でブロックすることはできないシステムだ。

(委員) 県立、岩美、鳥取市立図書館の利用者カードをどの図書館でも使えると聞いたが。

⇒インターネットを通して、県立図書館の本をどの図書館の利用者カードを使っても貸出の申し込みができるという制度がある。

(委員) インターネットが使える人だけしか役に立たない制度だ。私には役に立たない。この時代に、1つのカードを持っていればどこの図書館に行っても使えるようにはならないのか。マイナンバーカードでも良いが、そうやってほしい。

(委員) 各図書館が持っている個人情報共有できるようにしないと、個人情報保護の観点から、一つの利用者カードにすることは難しい。

(会長) まずは来館者を伸ばすことからだと思う。

(委員) 登録者数について、この1年間に借りられた人数を記載してほしい。
⇒次回から示すようにしたい。

(会長) 中央公民館のクッキング教室に参加した。最後にこの料理は図書館の本にも載っていますから探してみてくださいとの話があった。こんなところでも図書館のPRをしてるんだと感心した。

②令和5年度事業計画について

(委員) 田村虎蔵の生誕150周年について取り組めないか。

⇒図書館、中央公民館ではわらべ館の事業を、ここで行ってもらうようにしている。150周年がわかるように図書館でも展示を考えていきたい。阪本四方太さんも同様に考えている。

(委員) 今後、図書館、公民館の周年の記念事業は考えているか。

⇒今年度は考えていないが、今後考えていきたい。

③その他

(事務局) この後、図書の選定を行っていただきたい。

*以上閉会